

## 救命浮環（きゅうめいふかん）型ストラップの作り方

航海訓練所（こうかいくんれんしょ）作成

救命浮環は、人が海に落ちた時に救助するための浮き輪です。海に落ちた人を発見したら、すぐに助けられるように、甲板（デッキ）上にたくさん設置されています。フェリーや小さな船にもありますし、練習船の一般公開で気付いた人もいないのでしょうか。ここでは、救命浮環をモチーフにした、ストラップの作り方を紹介します。皆さんが作ったオリジナル救命浮環ストラップを携帯電話やカバンに付けてみてはいかがでしょうか。救命浮環ゆえに、困ったときの御守りになるかもしれませんね。



救命浮環型ストラップ



これが本物の救命浮環です。

材料は、2色のヒモ（それぞれ1m程度）とプラスチックのリング（直径3cm程度）です。ホームセンターや手芸用品店で入手できます。

### ステップ 1



この結び目のことを「カウヒッチ」といいます。

### ステップ 2



黄色を緑色で押さえます。

### ステップ 3



緑色でカウヒッチを4つ作ります。

### ステップ 4



黄色でカウヒッチを1つ半作ります。

ステップ 5



別の角度から



再び緑色カウヒッチを4つ作ります。

ステップ 6



別の角度から



ステップ 7



ステップ 8



ステップ 9



別の角度から

ステップ 10



ステップ 11



ステップ 12



この結び方は、「クラウンノット」といいます。  
オレンジ色のヒモは後々役に立ちます。



裏側です。  
この結び目は「ウォールノット」です。

ステップ 13



裏側の別の角度から



黄色、緑色の4本を先ほどのオレンジ色の  
ヒモがあったところにまとめて通します。  
ピンセットを使うと通しやすいです。



結び目をしぼって少量の接着剤で解けない  
ようにして完成です。

航海訓練所ホームページでも紹介しています。  
<http://www.kohkun.go.jp>